

啓翁桜のふかし（促成栽培）現地講習会を開催しました

○実施月 令和7年1～2月

○場 所 大桑村

○内 容

現在、木曾農業農村支援センターでは、栽培農家の協力をいただきながら、JAや町村、農業技術課、野菜花き試験場とも連携して、高齢者や小規模農業者にも取り組みやすく、鳥獣被害を受けにくい啓翁桜（ケイオウザクラ）を始めとした省力的な花木の生産振興を進めています。

啓翁桜は桜の一種で、切り枝用の園芸品目です。例年休眠の明ける1月に収穫後、ハウスでふかし、2月に出荷されています。

今年も収穫・出荷が始まる前の1月中旬に大桑村において、生産者10名程と関係機関の担当者が集まり、ふかしの現地講習会が開催され、出荷規格やふかしハウスの管理について周知を図りました。

今シーズンは、周期的な寒波や大雪の影響で生産者の方の苦勞も多くありましたが、2月上旬から中旬にかけて無事開花し出荷することが出来ました。

今後も栽培と出荷技術の向上を図りながら、省力的で冬場の収益を確保できる品目として生産の拡大が期待されます。



写真1：啓翁桜ふかし現地講習会（1月）

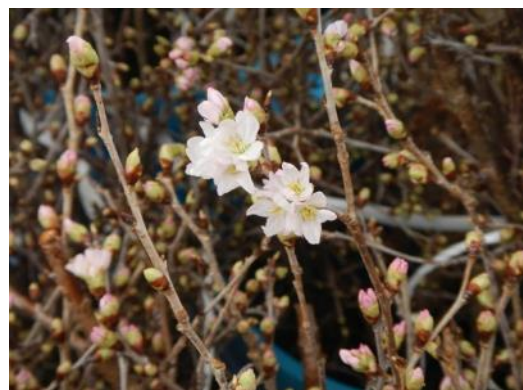


写真2：ふかしハウスでの開花（2月）